

NEW!

大阪府堺市(北区新金岡町地区)

**ラウンドアバウトとスムーズ横断歩道の
組み合わせで速度を低減**



設置

**住民からの要望をきっかけとした
安全対策で効果が実感され、追加設置**



合意形成



広域図



背景の地図の出典: 国土地理院

整備計画等 策定状況	あんしん歩行エリア
対策の内容	➤ 単路部ハンプ (スムーズ横断歩道) 3箇所 他
生活道路の 課題	➤ 交通安全対策が課題となっていた 地区であり、住民から看板の設置や イメージハンプの設置といった要望 があった

NEW!

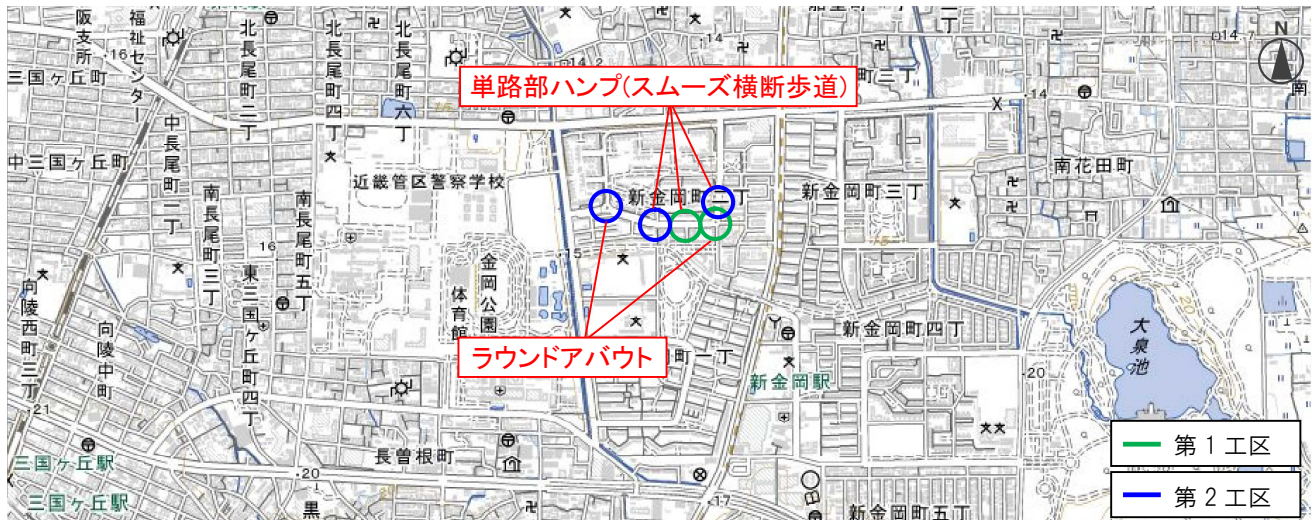
大阪府堺市(北区新金岡町地区)

設置の
特徴

ラウンドアバウトとスムーズ横断歩道の 組み合わせで速度を低減

物理的デバイスの概要

設置箇所



背景の地図の出典: 国土地理院

設置内容

	内 容	備 考
設置箇所数	3 箇所	
設置時期	2019 年 3 月 15 日 (第 1 工区) 2020 年 6 月 11 日 (第 2 工区)	
ハンプの形状	【単路部ハンプ (スムーズ横断歩道)】 - 平坦部の長さ 3.1m - ハンプの高さ 10cm - 傾斜部の勾配 5%	- 技術基準を参考 - 傾斜部はサイン曲線で施工
構造及び 付属施設	- アスファルト製ハンプ - 傾斜部カラー化 - 自発光鋲 - 路面表示 - 警戒標識	傾斜部: ベンガラ
その他の対策	ラウンドアバウト	スムーズ横断歩道とラウンドアバウトの同時設置
技術的な工夫	◆安全対策のためスムーズ横断歩道とラウンドアバウトの同時設置を行った ◆歩道のマウントアップ部分については、スムーズ横断歩道の高さに合わせてすりつけ、切り下げ部分については、歩道部の嵩上げで対応した ◆傾斜部の縁石は傾斜部の勾配に合わせて高くし、運転手に視覚的に訴える構造となっている ◆スムーズ横断歩道両傾斜端部から 1m 離れた区間までの舗装を打ち換えたことで傾斜端部の舗装厚が薄くなることを防止	

NEW!

大阪府堺市(北区新金岡町地区)

設置状況



概観(第1工区)



警戒標識(第1工区)



路面表示(第1工区)



傾斜部の縁石と自発光鋲(第1工区)



自発光鋲と集水枡(第1工区)



ラウンドアバウト(第1工区)

NEW!

大阪府堺市(北区新金岡町地区)

合意形成 のポイント

住民からの要望をきっかけとした 安全対策で効果が実感され、追加設置

設置に至るまでの経緯と合意形成の概要

設置に至るまでの経緯 (道路管理者の動き)

ラウンドアバウトの発案
(2015 年度)

ラウンドアバウトの可能性を警察へ打診
(2015 年度)

第 1 回府警本部協議
(2016 年度)

他自治体への聞き取り調査・ハンプ設置箇所視察(2017 年度)
奈良県大和高田市・滋賀県長浜市

第 2 回府警本部協議
(2017 年度)

第 3 回府警本部協議
(2017 年度)

第 1 工区施工(2019.3)
・単路部ハンプ(スムーズ横断歩道)1 箇所
・ラウンドアバウト 1 箇所
第 2 工区施工(2020.6)
・単路部ハンプ(スムーズ横断歩道)2 箇所
・ラウンドアバウト 1 箇所

合意形成の概要

2013 年度 交通安全対策について住民から要望

2014 年度 イメージハンプ等の設置要望があったものの、効果が期待できないため、自治会に再検討を促す

2015 年度 住民から信号設置要望が上がったが、現状では難しいとの警察からの回答があり、堺市にて環状交差点(ラウンドアバウト)に改良することによる速度抑制が可能かを検討



住民の多くがこの路線に対しての速度抑制対策を望まれており、物理的デバイスの設置についても自治会や警察等からの協力を得られやすかったことが円滑な検討に繋がった

ラウンドアバウトの径が小さいことから、減速させるためハンプの設置を警察が要請

2017 年度 連合町会長に事業説明
・事業説明

2018 年度 連合町会長に工事予定の説明
工区の定例会にて工事概要の説明

・工事予定の説明
・工事概要の説明

保育施設への説明



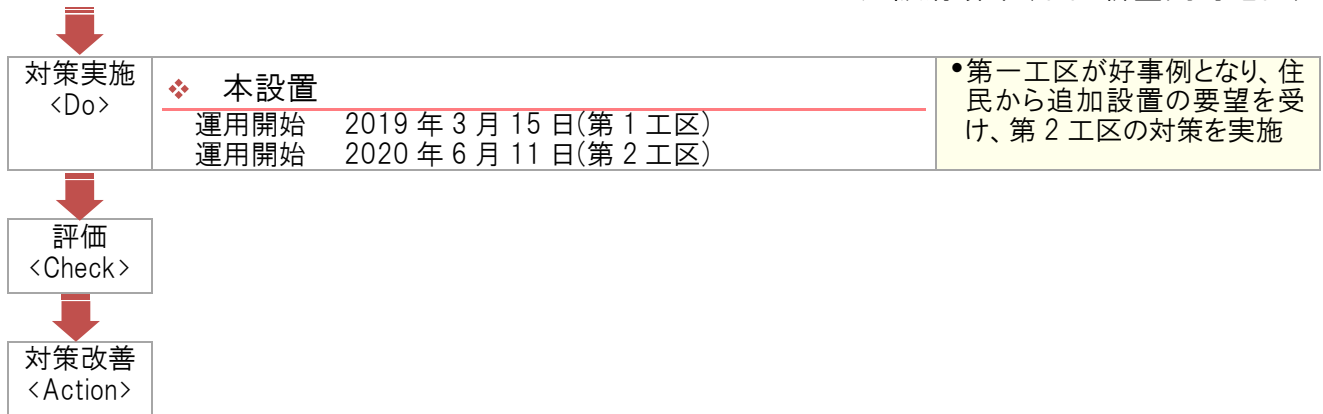
ラウンドアバウトの北側のスムーズ横断歩道については、必要ないのではないかといった意見もあったが、警察から安全上設置したい旨を説明することで理解を得た



第 1 工区が好事例となり、住民から追加設置の要望を受け、対策を実施

PDCA 中での合意形成の内容とポイント

段階	説明手法・内容	道路管理者の考える合意形成のポイント 
現況調査 計画策定 〈Plan〉	❖ 第1回府警本部協議 実施日 2016年度 参加者 堺市、大阪府警察本部、北堺警察署 内容 環状交差点の可能性について打診 2箇所のラウンドアバウト(市の発案)を了解 ラウンドアバウト間の横断歩道(2箇所)の安全対策 の検討依頼	
	❖ 他自治体への聞き取り調査・ハンプ設置箇所視察 実施日 2017年度 参加者 奈良県大和高田市:大和高田市、堺市 滋賀県長浜市:長浜市、堺市	
	❖ 第2回府警本部協議 実施日 2017年度 参加者 堺市、大阪府警察本部、北堺警察署 内容 信号設置が困難であるため横断歩道のハンプ化の 検討要請有 ラウンドアバウト(東)の幅員構成の了解	
	❖ 連合町会長に事業説明 実施日 2017年度 参加者 連合町会長、堺市 内容 事業説明	
	❖ 第3回府警本部協議 実施日 2017年度 参加者 堺市、大阪府警察本部、北堺警察署 内容 スムーズ横断歩道の設置について、2018年度、 2019年度にそれぞれ1箇所設置することを決定 ラウンドアバウト(東)の幅員構成の了解 府警本部にて単路部ハンプ(スムーズ横断歩道)、 ラウンドアバウトの施工の決裁が完了	
	❖ 連合町会長に工事予定の説明 実施日 2018年度 参加者 連合町会長、堺市 内容 工事予定の説明	・連合町会長より住民への説 明要請有 ・工区の定例会において工事 予定の説明を実施
	❖ 工区の定例会にて工事概要の説明 実施日 2018年度 参加者 住民、堺市、北堺警察署 内容 工事概要の説明	・ラウンドアバウトの北側のスム ーズ横断歩道については、必 要ないのではないかといった 意見もあったが、警察から安 全上設置したい旨を説明する ことで住民からの理解を得た
	❖ 保育施設への説明	



NEW!

合意形成における道路管理者からみた特筆事項

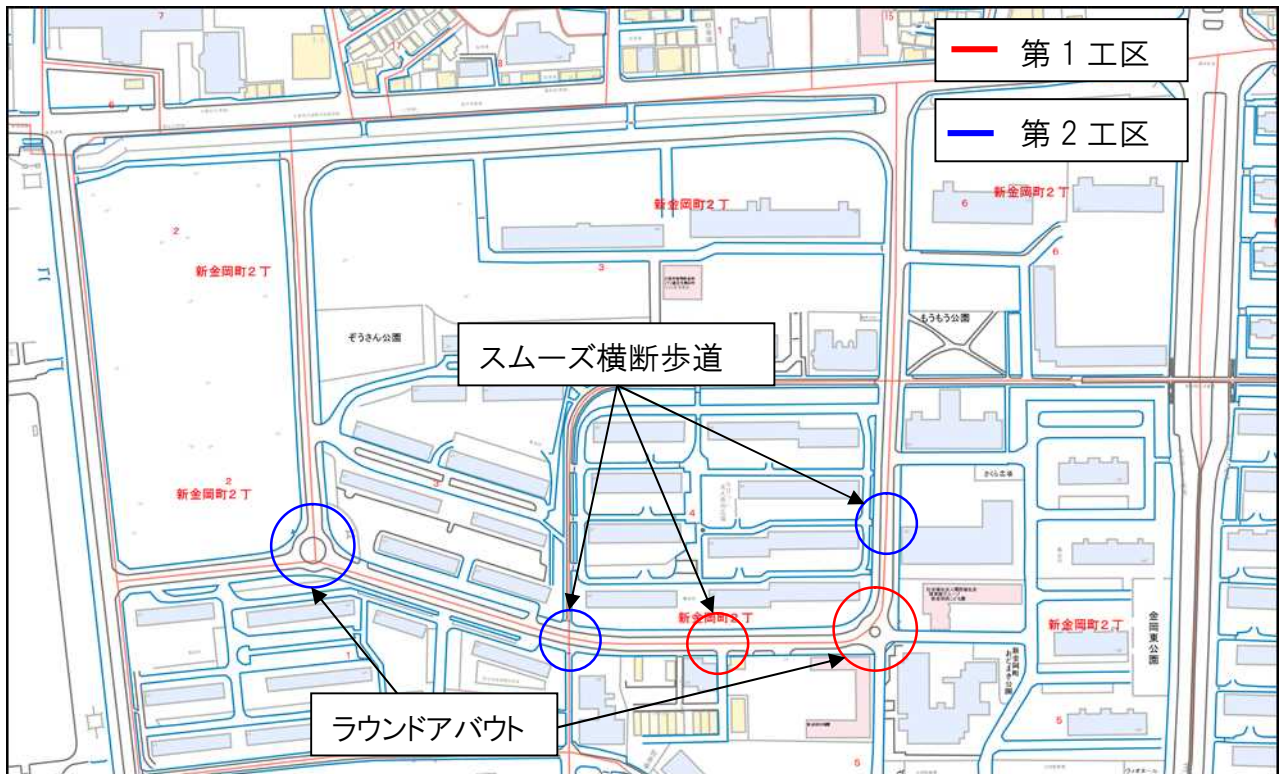
円滑な検討に 結びついた点	◆ 住民の多数がこの路線に対しての速度抑制対策を望まれており、物理的デバイスの設置についても自治会や警察等からの協力を得やすかったことが円滑な検討に繋がった。 ◆ 第一工区が好事例となり、住民の要望として、追加対策の実施ができた。 ◆ ラウンドアバウトの北側のスムーズ横断歩道については、必要ないのではないかといった意見もあったが、警察から安全上設置したい旨を説明することで理解を得た。 ◆ 対策箇所が住宅街であり、交通量が少ない地区であったことが、スムーズな合意形成に繋がった。
考えられる 今後の工夫	◆ 今回の対策箇所は、交通量が少なく、設置の影響を受ける範囲が広くなかったことがスムーズな合意形成に繋がったが、他地区から流入してくる交通量が多い場合、対策の影響範囲が広くなるため、合意形成はより困難になると考えられる。対策箇所が影響する範囲について考慮して合意形成を行う必要がある。

NEW!

大阪府堺市(北区新金岡町地区)

その他参考資料

❖ 位置図

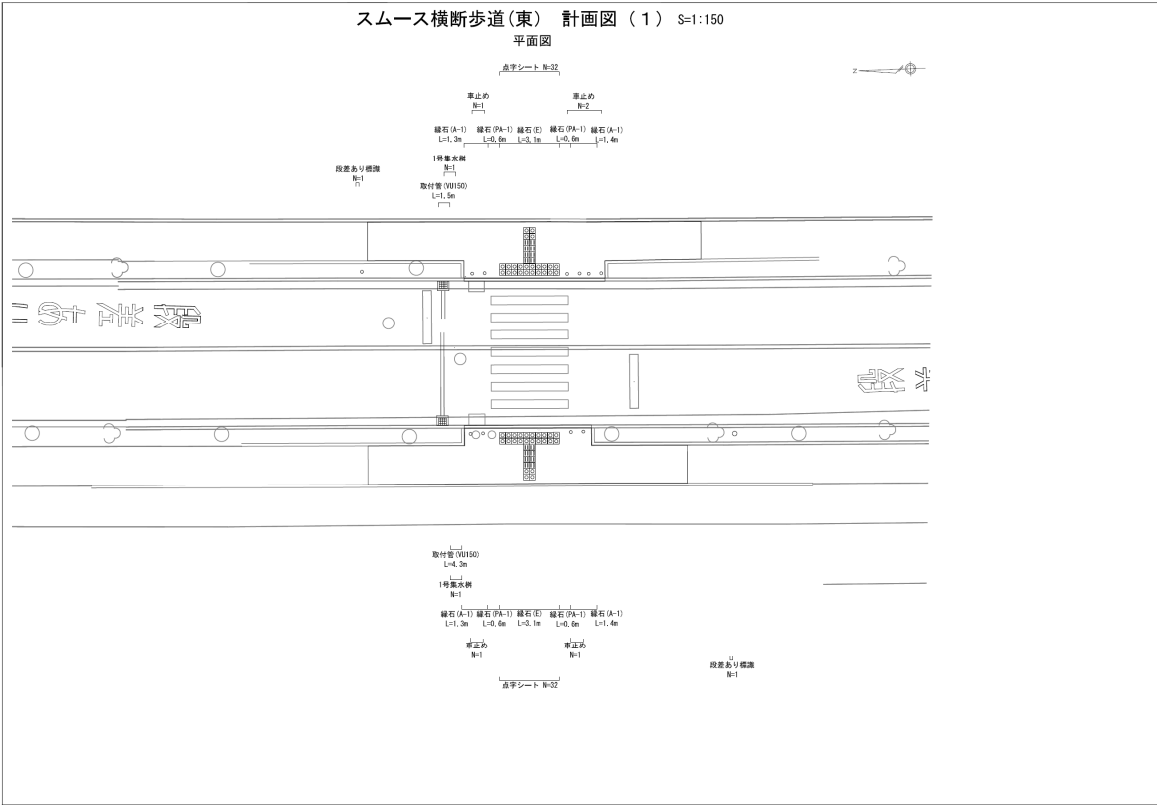


❖ 単路部ハンプ(スムーズ横断歩道)設計図(第1工区)



提供:堺市

❖ 単路部ハンプ(スムーズ横断歩道)設計図(第 2 工区)



提供:堺市